



①生徒約550人を相手に『よのなか科』の一斉授業②各ブースでは実践的なアドバイスや体験談が語られた③保育園のブースでは保育士からリズムに合わせた手遊びを習った

キャリアチャレンジデイ 参加団体

1	農家
2	香美森林組合
3	聖建築研究所
4	菅公学生服株式会社
5	ダイソン株式会社
6	株式会社 オルタステクノロジー
7	四国電力 株式会社
8	株式会社 テレビ高知
9	株式会社 高知新聞社
10	佐川急便 株式会社
11	日本航空 株式会社
12	株式会社 土佐山田ショッピングセンター
13	株式会社 四国銀行
14	スタジオハンズ
15	マクドナルド
16	高知理容美容専門学校・ようこ美容室
17	株式会社 テラムラ
18	高知県立 のいち動物公園
19	高知県立 山田高校
20	公立大学法人 高知工科大学(2ブース)
21	高知大学 医学部
22	香美市立 新改保育園
23	社会福祉法人 土佐香美福祉会
24	香美市役所
25	香美警察署
26	香美市消防本部
27	自衛隊高知地方協力本部
28	四国管財 株式会社
29	ネットトヨタ南国 株式会社
30	公益財団法人 日本オリンピック委員会

(順不同)



キャリア教育とは…
さまざまな学習や体験をし、
多くの人と触れ合うことを通
して、生き方について考える
取り組みです。

キャリアチャレンジデイ

キャリアチャレンジデイのね・ら・い

役割を理解しよう

社会にあるいろいろな職業。その役割と重要性を理解しよう。

必要な能力を知ろう

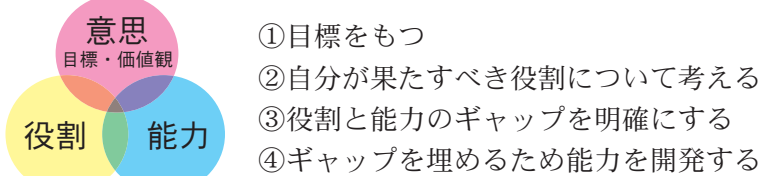
なりたい職業に必要な能力を知り、育てよう。

価値観を育てよう

実際に仕事をしている大人の話聞く中で、自らの価値観を形成するためのヒントを探し、糧としよう。

さまざまな職業と、そこで働く大人たちに接することで、自分を成長させるための、これからの生き方を考える。

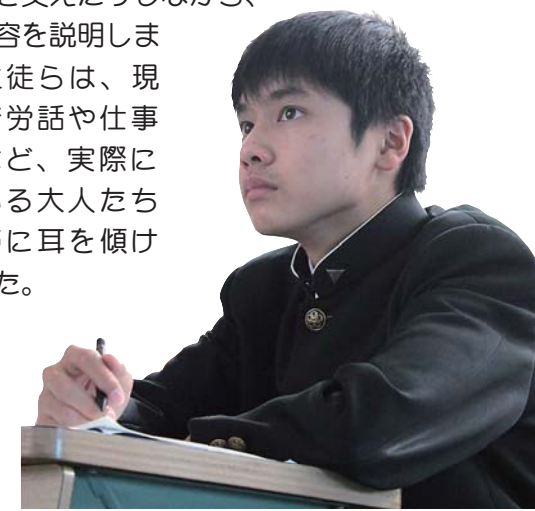
自分を成長させる『意思・役割・能力』の関係



11月1日、高知工科大学を会場に香美市キャリアチャレンジデイが開催されました。

香美市内3中学の全校生徒約550人が集合し、一斉に職業学習を行うもので、高知工科大学や山田高校、PTA、民生委員、学校地域支援本部など、多くの皆さんの協力のもと実施されました。農林業やマスコミ、官公庁など、さまざまな職種の30団体31ブースが設けられ、生徒たちは、自分が興味のある企業等のブースを回りました。

ブースの担当者は、スライドを使ったり、体験学習を交えたりしながら、業務の内容を説明しました。生徒らは、現場での苦労話や仕事の魅力など、実際に働いている大人たちの生の声に耳を傾けていました。

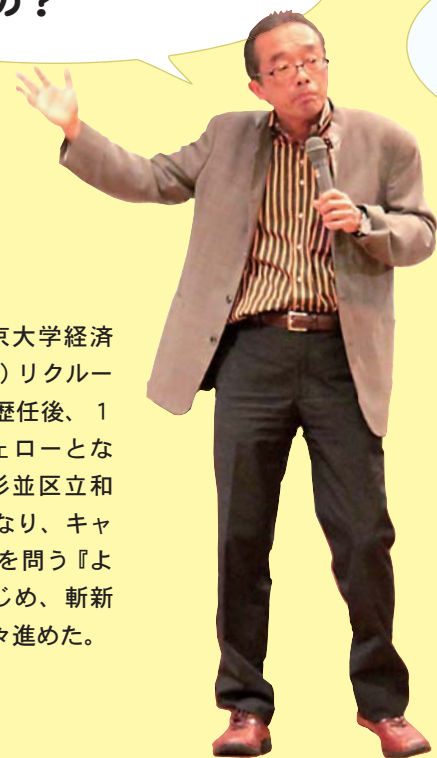


世の中ってどんな仕組みになっているの？

よのなか科一斉授業！

藤原和博さん

1978年、東京大学経済学部卒業後、(株)リクルート入社。要職を歴任後、1996年同社フェローとなる。2003年杉並区立和田中学校校長となり、キャリア教育の本質を問う『よのなか科』をはじめ、斬新な取り組みを次々進めた。



キャリアチャレンジデイでは、藤原和博さんを講師に『よのなか科一斉授業』も開催されました。

生徒たち一人ひとりがハンバーガー店の店長になったつもりで、「どんな場所に出店すれば多くの客が来てくれるか」「ハンバーガー店としてのセールスポイント」など、ワークショップ形式で意見を出し合いました。

藤原さんは、集まった中学校生徒約550人に向けて語りかけ、生徒たちの意見やアイデアを巧みに引き出しながら、『よのなか科』の仕組みや、経営をするときの考え方などを教えていました。